第６０１号

松戸南支店に組合室・掲示板を設置せよ

PIWU

郵産労 ちば

２０１２年　８月１日発行

郵政産業労働組合千葉支部教宣部

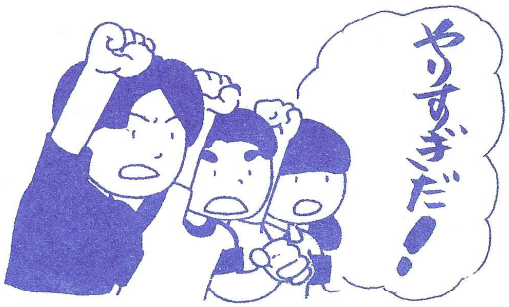
編集責任者　青柳翔太郎

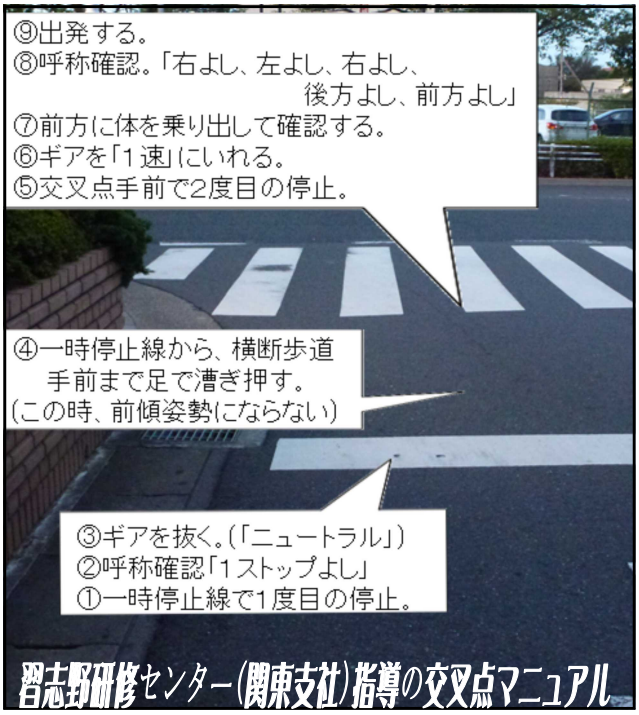
千葉支部　H･P

http://yusanro-chiba.jp/

作業の標準化で交通事故は防げない

習志野研修センターへ行ってきました





保険証繁忙期の連続勤務体制真っ只中の七月下旬に習志野研修センターで近隣支店代表者が集められて、交通事故研修が行われました。浦安代表として出席した内容を報告します。

必要なのは「ゆとり」だ！

午前中は㈱映学社制作の「奪われた夢」というビデオ映像を観ました。

ドライブレコーダに映った6つの事故を分析する内容で、まず事例①～④で死角のバイクの捲込事故や蒸発現象を挙げ「想像力を働かせた、かもしれない運転」を解決方法として示しました。

次に事例⑤⑥では考え事や疲れが誘発した単純な見落としによる事故を挙げて「運転に集中出来るような心にも、体にもゆとりを持った運転」を解決としました。

郵政の事故事例では信号待ちの自動車に前方不注意で追突するような単純な事故が非常に多い。全くその通りではないでしょうか。最後に「SKYTを実施して頂いて意識は安全意識に結びつく。」というゆとりには一切触れない教官の言葉で授業は終わりました。

「ゆとり」も「想像力」も無い！

午後は実技訓練で、研修センター屋内の狭いコースを20㎏の水を積んだ原付に乗って走ります。

「毎朝、支店ではストップウォッチで計測していると思いますが」との説明でまずは一本橋やスラローム走行を行いました。

次にバイクの乗る時の順序や交叉点進入時のマニュアル（上図）について何度も何度も訓練します。

「ギア抜いて足漕ぎすると支店では教わってないのか？」「前傾姿勢で漕ぐな」「声を出せ」など声を荒げては物陰から紐のついたゴムボールを投げつけます。その上で「3秒で行えば交叉点100箇所でも5分しかかからない」として外でも行うことを繰返し唱えます。

「ゆとり」も「想像力」も与えないままに、作業の標準化と運転技能不足に問題をすり替えるだけでは事故は増えるばかりです。

★営業目的達成のために安易に個人負担することは、もはや営業活動とはいえず、経営判断の誤りや社員の不満を招き、経営上大きな障害となります。また、社員やその家族に重大な影響を生じることも考えられます。
★したがって、需要に基づかない自社商品の買取り（需要のない買取り）をしてはなりません。
（郵便事業会社発行、コンプライアンスハンドブック
４７頁「不適正営業の禁止」）

カレーカタログに「ごはん」登場

今年版の「夏のカレーカタログ」に、新たに掲載された商品が話題となっています。電子レンジで温める「ふっくらごはん」（180g×3パック×3セット）の一五〇〇円で「カレーのおとも」として掲載されました。

カタログゆうぱっくは商品一個づつに送料が上乗せされたボッタくり価格で、配送料無料のAmazonなどと比較するまでもありません。　カレーのみをネット通販が使用出来ないお年寄りに勧めるならまだしも、コンビニでも売ってる「ごはん」を訪問販売したら、ただの押し売りになってしまうことはいうまでもありません。

どう考えても「自爆商品」！

昨年の売上一位二位は一番安い一八七〇円のカレー二種類でした。営業実績は「個数」なので、自爆営業の蔓延するいま、売れないカタログではいつも一番安い商品が売れます。

今年のカタログの中では「ごはん」が一番安いことを考えれば、職員に対してはそこそこ売れるでしょうか。利益の出る自爆商品として掲載したのは間違いありません。

自らコンプライアンス違反として定める中身を反故にするような商品は許されません。

行徳集配の浦安へ集約する施策実施まで後2ヵ月

会社が市役所に説明に赴いたそうだが、「以前、警察署が移転になった時も、自治会でいろいろ問題が出ていた。各自治会へも説明してくれ。」との話がされたそうだ。利用者に取って利便性を考えれば、「問題」は大きい。

不在時の郵便など、直ぐ必要であれば、近くにあったゆうゆう窓口が、「はるか彼方」となれば誰の口からも「クレーム」は出てくる。「民営化」以降、千局に及ぶ集配局の再編でそれは「立証済み」。自治会への説明は簡単なものではないはず。

期間雇用社員の減を含め非正規の減員と、郵便内務定員の「減員」も実施時に図るなどの「合理化」策からすれば、市民サービスが遠のくことが「実施」の提案です。

浦安では、足らない要員の穴埋めで深夜・早番・夜勤の募集をしてもなかなか集まらないままです。このままでは、2ヶ月後の集配業務の「集約」は、「さらなる労働強化やサービスの低下をつくることへの不安が現実となってしまうのでは」と。

労働条件改善と住民サービス確保からも要員増の声を上げていきましょう！　（岩井）

私達も国会へ行ってきました～7･29国会大包囲

７月２９日に行われた、日比谷公園～東電～経産省～国会のデモ･キャンドル包囲の行動(主催者発表２０万人)に郵政産業ユニオンからも５０人が参加。途中東京地本の福田さんがかつて大ファンだった千葉麗子さんからも中継取材も受けました。

関電社長は高浜原発再稼働を表明、国会には９月発足の原子力規制委員会（５年間任期）に、田中俊一委員長候補ら原発推進派当事者で固められた人事案が今週中にも採択されるなど、膨れあがる民衆を無視して再稼働に突き進む政府と電力会社に怒りの声に燃える熱い集会となりました。